

フィリピン人権活動家殺害を今すぐ止めよう！

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

日本外務省

外務大臣 麻生太郎様

私たちは、フィリピンで相次いでいるジャーナリスト、司法関係者、教会、人権NGO、労働組合、進歩的政党党員や民衆組織のメンバーおよびその支援者たちに対する虐殺、人権侵害に対して、深く憂慮しています。2005年だけで、すでに60人以上の人々が殺害されています。これらの殺人事件は、フィリピン国軍および警察によって行われたものと強く疑われています。しかし、フィリピン国内や海外の諸団体からの多くの署名や抗議にもかかわらず、フィリピン人権委員会の勧告も無視し、アロヨ政権はこの件について沈黙して、殺害を止める手立てを講じておらず、殺害に関与した者の裁判も全く行われておりません。

アロヨ政権が「対テロ戦争」「反乱鎮圧」の名の下にとっている政策が、これら人権侵害を招いていることは明らかです。その背景には、自国利益のためにフィリピン政府に財政再建と治安維持を性急に強く求めてきた日本を含む諸外国からの圧力、またアジアにおける権益を確保するために軍事的に介入している米国からの圧力があります。

政治的・経済的に密接な関わりをもってきた責任を踏まえ、日本政府が私たちとともに、フィリピン政府に対して、人権を尊重し、「テロリスト」のレッテル貼り、裁判なしの処刑を今すぐやめること、犠牲者の遺族に対する補償と、事件の徹底解明、殺害に関与した者の裁判を行うことを、求めて下さるようお願いいたします。

	名前	住所	所属
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

署名呼びかけ団体・集約先 (2006年3月10日まで):

日本キリスト教協議会 (NCC) フィリピン委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24

電話 03-3203-0372 / FAX 03-3204-9495 / E-MAIL: ncc-j@jca.apc.org